


第46回 いばらき 2023 全国育樹祭
誰かじゃない 僕が育てる 緑の日本

実施計画書

 茨城県

第46回全国育樹祭茨城県実行委員会

令和5年(2023年)3月

01 ●	開催計画	1.全国育樹祭の目的 ----- 3 p
		2.茨城県での開催状況 ----- 4 p
		3.式典開催の方針 ----- 5 p
		4.基本コンセプト ----- 6 p
		5.大会テーマ、大会ポスター --- 7 p
		6.開催概要 ----- 8 p
		7.開催場所 ----- 9 p
02 ●	お手入れ行事計画	1.基本方針 ----- 11 p
		2.お手入れ行事の概要 ----- 12 p
		3.会場整備・設営 ----- 14 p
		4.記念育樹活動等 ----- 16 p
03 ●	式典行事計画	1.基本方針 ----- 18 p
		2.式典行事の概要 ----- 19 p
		3.式典行事の全体構成 ----- 21 p
		4.進行・演出内容 ----- 22 p
		5.会場整備・設営 ----- 23 p
		6.おもてなし広場 ----- 25 p
04 ●	懇談会計画	1.懇談会の概要 ----- 27 p
05 ●	併催行事計画	1.育林交流集会 ----- 29 p
		2.全国緑の少年団活動発表大会 ----- 30 p
06 ●	記念行事計画	1.森林・林業・環境機械展示実演会 --- 32 p
		2.その他の記念行事 ----- 33 p
07 ●	運営計画	1.基本方針 ----- 35 p
		2.実施本部設置計画 ----- 36 p
		3.参加者行動計画 ----- 38 p
		4.参加申込・受付計画 ----- 39 p
		5.輸送計画 ----- 40 p
		6.宿泊計画及び案内計画 ----- 41 p
		7.視察（エクスカーション）計画 --- 42 p
		8.警備・消防防災計画 ----- 43 p
		9.救護・衛生計画 ----- 44 p
		10.緊急時、雨天時・荒天時対応計画 -- 45 p
08 ●	広報・協賛計画	1.広報・協賛計画 ----- 47 p
09 ●	開催準備計画	1.リハーサル計画 ----- 49 p
		2.開催スケジュール ----- 50 p



1.St

開催計画

筑波山



平成元年(1989年) 第13回全国育樹祭 記念式典の様子



全国育樹祭は、継続して森を守り育てることの大切さを普及啓発するため、全国植樹祭を開催したことのある都道府県において、昭和52年（1977年）から国土緑化推進機構との共催で行われています。

大会では、全国植樹祭において天皇皇后両陛下（現在の上皇皇后両陛下）がお手植えされた樹木について皇族殿下によるお手入れを行うほか、皇族殿下によるお言葉や各種表彰、参加者の育樹活動等の行事が催されます。

茨城県では過去に、全国植樹祭が2回、全国育樹祭が1回、開催されています。

○第27回全国植樹祭

(昭和51年(1976年)5月23・24日)

大子町 茨城県奥久慈憩いの森



昭和天皇による
お手植え



開催地：茨城県奥久慈憩いの森 (23日)
(お手植え及び式典)
高萩市森林公園 (24日)
(お手播き)

大会テーマ：緑を育て守ろう大地

参加者：約20,000名 (出演者等含む)

○第13回全国育樹祭

(平成元年(1989年)10月29日)

大子町 茨城県奥久慈憩いの森



皇太子殿下
(現天皇陛下)
によるお手入れ



開催地：茨城県奥久慈憩いの森
大会テーマ：とどけ未来に 緑のいぶき
参加者：約5,400名 (出演者等含む)

○第56回全国植樹祭

(平成17年(2005年)6月5日)

潮来市 茨城県水郷県民の森



天皇陛下
(現上皇陛下)
によるお手植え



開催地：茨城県水郷県民の森
(メイン会場)
茨城県奥久慈憩いの森
(サテライト会場)
大会テーマ：楽しいな。
森と人とのハーモニー
参加者：11,230名 (出演者等含む)



森林は、木材などの林産物の供給をはじめとして、国土の保全や水源のかん養、さらには地球温暖化の防止など、多面的な機能を発揮することにより私たちに様々な恩恵を与え、安全で豊かな暮らしを営む上で欠かせない存在となっています。こうした機能を十分に発揮するためには、森林を適切に管理し、維持し続ける必要があります、林業はその一助になっています。

近年の林業・木材産業
における転換トピック

ICT や新たな機械開発など先端技術を活用したスマート林業の推進

新たな工法や部材開発による中高層建築物への木材利用

セルロースナノファイバーや改質リグニンなど新技術の開発と実用化の取組

茨城県では、戦後植林された人工林が森林資源として充実し、本格的な利用期を迎えており、木を植え、育て、伐採し、木材を有効活用して再び植える「緑の循環システム」の構築を図ることが必要となっています。このため、川上から川下まで一体となって林業・木材産業の成長産業化に向けた取り組みを進めるとともに、茨城県森林湖沼環境税などを活用し、森林の持つ多面的な機能の維持・向上に努めているところです。

こうした取り組みの一層の推進を図るためには、筑波研究学園都市をはじめ、県内に所在する国等の多くの研究機関などに蓄積されている先端技術の活用が必要です。

以上を踏まえ、「**未来に繋がる新しい林業の姿を全国に発信する**」という開催方針のもと、第46回全国育樹祭を開催します。



開催方針を踏まえた3つのCのコンセプトをもとに、コンパクトな育樹祭の開催を目標とします。

CHALLENGE 挑戦

育樹祭を考える

- コンパクトかつ効率的な宿泊・輸送
- 業務のデジタル化推進

CHANGE 変革

育樹祭を変える

- 式典を簡素化して所要時間を短縮
- 厳粛、シンプルな演出

COOL 格好良さ

育樹祭を格好よく

- インパクトある演出で林業PR
- 観光などの魅力PR



■大会テーマ

「誰かじゃない 僕が育てる 緑の日本」

茨城県立水戸第一高等学校附属中学校3年 樋之口 尚史 さん
(令和4年用国土緑化運動・育樹運動標語 入選作品)

■大会ポスター



【作者コメント】

植林やSDGsなど、環境保全への取り組みを「自分ごと」として捉え、積極的に参加していきたいという思いを形にしました。

茨城県立結城第一高等学校2年 鶴見 彩夏 さん
(令和4年用国土緑化運動・育樹運動
ポスター原画コンクール 特選作品)

【作者コメント】

タイトル「地球緑化」

緑豊かな美しい星がこれからも続いていくようにという思いを、植樹する宇宙飛行士の姿で表現しました。

※大会テーマ、ポスターとも公募は行わず、公益社団法人国土緑化推進機構主催のコンクール入賞作品の中から、メッセージ性の強いものを選定いたしました。

■開催日：令和5年（2023年）11月11日（土）・12日（日）の2日間

■会場：お手入れ行事：茨城県潮来市 茨城県水郷県民の森（11日）

式典行事：茨城県水戸市 アダストリアみとアリーナ メインアリーナ（12日）

■内容

- ・お手入れ行事：皇族殿下による平成17年（2005年）に開催した全国植樹祭で天皇皇后両陛下によってお手植えされた樹木のお手入れ（枝打ち・施肥）
- ・式典行事：皇族殿下によるおことばや各種表彰、参加者の育樹活動等の紹介
- ・懇談会：皇族殿下の御臨席を仰ぎ、全国育樹祭での各種表彰者に祝意を表する場として開催
- ・併催行事：育林交流集会、全国緑の少年団活動発表大会
- ・記念行事：国民参加の森林づくりシンポジウム、森林・林業・環境機械展示実演会

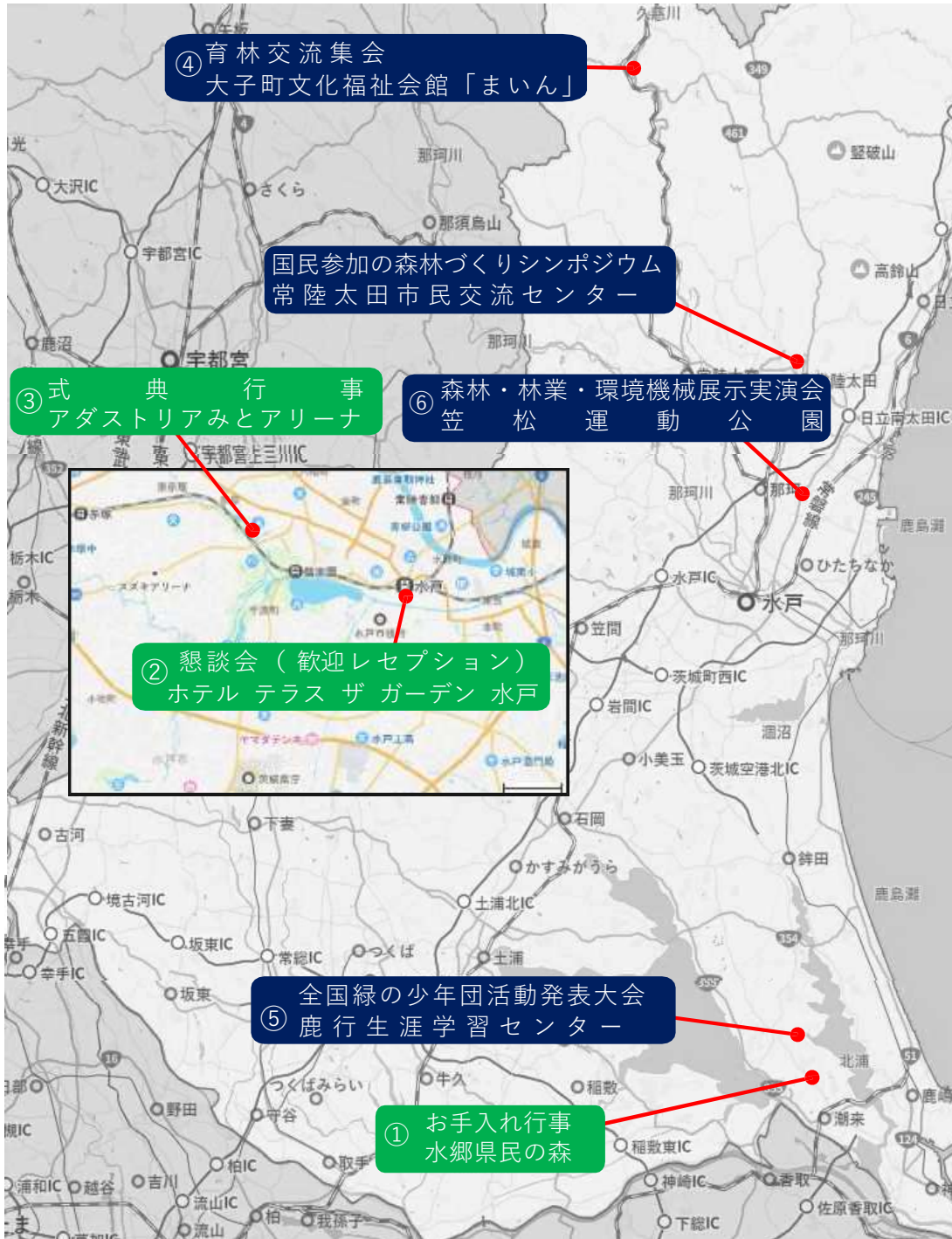


水郷県民の森 吊橋（潮来市）



アダストリアみとアリーナ（水戸市）





■ メイン行事 ■ 併催・記念行事

① お手入れ行事

開催日：令和5年11月11日（土）
名称：茨城県水郷県民の森（潮来市島須）
参加者：200人

② 懇談会（歓迎レセプション）

開催日：令和5年11月11日（土）
名称：ホテル テラス ザ ガーデン 水戸（水戸市宮町）
参加者：200人

③ 式典行事

開催日：令和5年11月12日（日）
名称：アダストリアみとアリーナ（水戸市緑町）
参加者：2,000人

④ 育林交流集会（併催行事）

開催日：令和5年11月11日（土）
名称：太子町文化福祉会館「まいん」（太子町太子）
参加者：200人

⑤ 全国緑の少年団活動発表大会（併催行事）

開催日：令和5年11月11日（土）
名称：茨城県鹿行生涯学習センター（行方市宇崎）
参加者：300人
※交流集会（宿泊）は「茨城県立白浜少年自然の家」

⑥ 森林・林業・環境機械展示実演会（記念行事）

開催日：令和5年11月12日（日）・13日（月）
名称：笠松運動公園自由広場等（ひたちなか市ほか）
参加者：出展者60社・延べ1万人（予定）自由参加（無料）

国民参加の森林づくりシンポジウム（記念行事）

※開催済み（参加者：405人）
開催日：令和4年12月1日（木）
名称：常陸太田市民交流センター（パーティホール）



2.nd

お手入れ行事計画

平成17年（2005年）に開催された、第56回全国植樹祭で天皇皇后両陛下（現在の上皇上皇后陛下）がお手植えになられた樹木を皇族殿下がお手入れされるという育樹の実践を通して「継続して森を守り育てることの大切さ」を全国に広めます。なお、荒天の場合、お手入れ行事は中止とします。

会場・整備

会場となる茨城県水郷県民の森で、円滑な運営に必要な整備を行います。

Point
1

行事参加者

行事では、大会会長(参議院議長)など主催・招待者や介添えを行う緑の少年団員、林業関係者など約200人が参加し、会場内の樹木の手入れを行います。

Point
2

進行・演出

次世代にわたり大切に育てる雰囲気重視し、形式ばった演出にならないように和やかに執り行います。

Point
3

Point
4

県産木材の積極活用

手鋸、肥料入れ、鍬など、お手入れ道具には、茨城県産木材を積極的に活用します。

- 開催日 令和5年（2023年）11月11日（土）午後
- 会場 茨城県水郷県民の森（茨城県潮来市島須3072-85）
- 参加者 約200人



●お手植え木の状況



ビジターセンター



野外活動広場



吊り橋

茨城県水郷県民の森は、総面積51.5ヘクタールにおよび、コナラやクヌギの雑木林のほか、シイやカンなどの照葉樹が見られる貴重な平地林となっています。施設内には、大膳池や大生古墳群を有しており、これらの特徴を活かした四季折々の自然観察会や森林管理などの体験学習ができます。総合案内施設であるビジターセンターには、パネルなどで自然や森林の大切さを伝える展示室や研修室などがあり、楽しみながら森林の役割などを学ぶことができます。平成17年（2005年）6月には、「楽しいな。森と人とのハーモニー」の大会テーマのもとに、茨城県で2度目の全国植樹祭を開催しました。

■ 概 要

(1) 皇族殿下のお手入れ会場御着

茨城県知事、大会会長(参議院議長)、公益社団法人国土緑化推進機構理事長、によりお出迎えをします。

(2) パネル展示などの御覧

皇族殿下に第56回全国植樹祭の様子及びお手植え木の育成状況などを御説明します。



パネル御覧のご様子



御説明パネル

(3) お手入れ

皇族殿下により、天皇皇后両陛下によってお手植えされた樹木にお手入れ(枝打ち・施肥)がされます。



皇族殿下による枝打ちのご様子



皇族殿下による施肥のご様子

(4) 皇族殿下お手入れ会場御発

● 行事参加者

行事では、大会会長(参議院議長)など特別招待者や介添えを行う緑の少年団員、林業関係者など約200人が参加し、会場内の樹木の育樹活動を行います。

● 次第

次第	行事概要
皇族殿下御着	知事、大会会長、国土緑化推進機構理事長による皇族殿下のお出迎え ・知事の御先導により、パネル展示位置へ御移動
パネル御覧	・第56回全国植樹祭の様子、お手植え樹木の生育状況などを御説明
お手入れ	皇族殿下お手入れ ・緑の少年団の介添えのもと、天皇皇后両陛下のお手植えの樹木にお手入れ
お声掛け	皇族殿下より緑の少年団等へのお声掛け
御 発	知事の御先導により、お召し車へ御移動～御発 知事、大会会長、国土緑化推進機構理事長による皇族殿下のお見送り

● お手入れ対象樹木

樹種：タブノキ、ヤマボウシ
樹齢：17年(令和5年3月時点)

● お手入れ道具

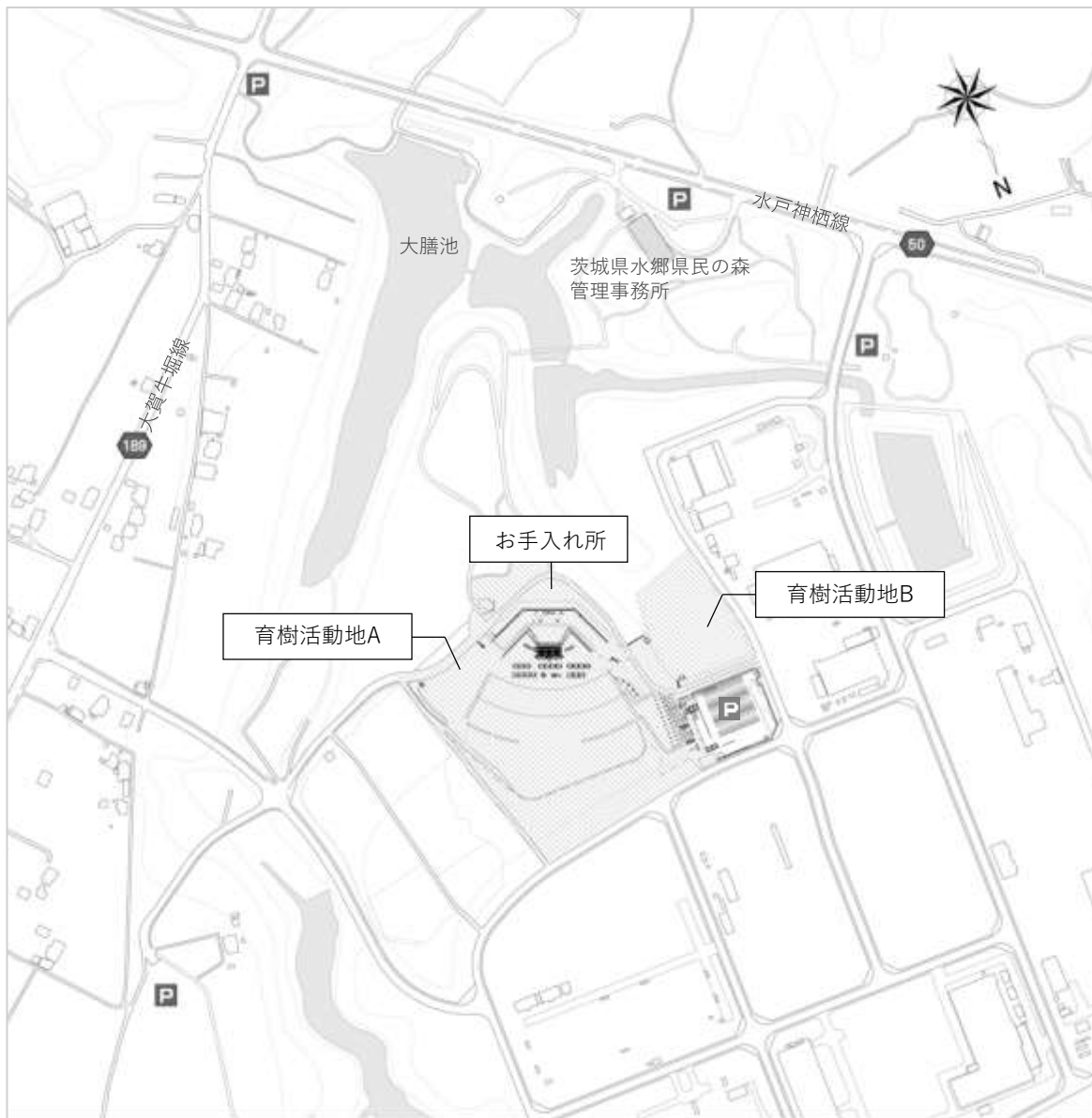
手鋸や肥料入れ、鍬などのお手入れ道具には、県産木材を積極的に活用します。



第45回全国育樹祭(大分県) お手入れ道具

会場の整備・設営にあたっては、動線等の整備や木堀、説明用パネル、参加者用テント等の仮設物の設置他、お手入れ行事の円滑な運営に必要な施設を整備します。

【お手入れ行事 全体配置図】



1 会場装飾

会場を彩り動線を確保するため県内で育てた飾り花で装飾します。
その他、お手入れ区域の木堀、プランターなど県産木材を積極的に活用します。

2 案内誘導サイン

参加者が安全かつ円滑にお手入れ行事に参加することができるよう案内誘導サインを設置します。

3 仮設テントの設置

テントなどの仮設施設は、必要最小限にとどめ、適切な規模（数、大きさ）とし、快適な会場づくりに努めます。

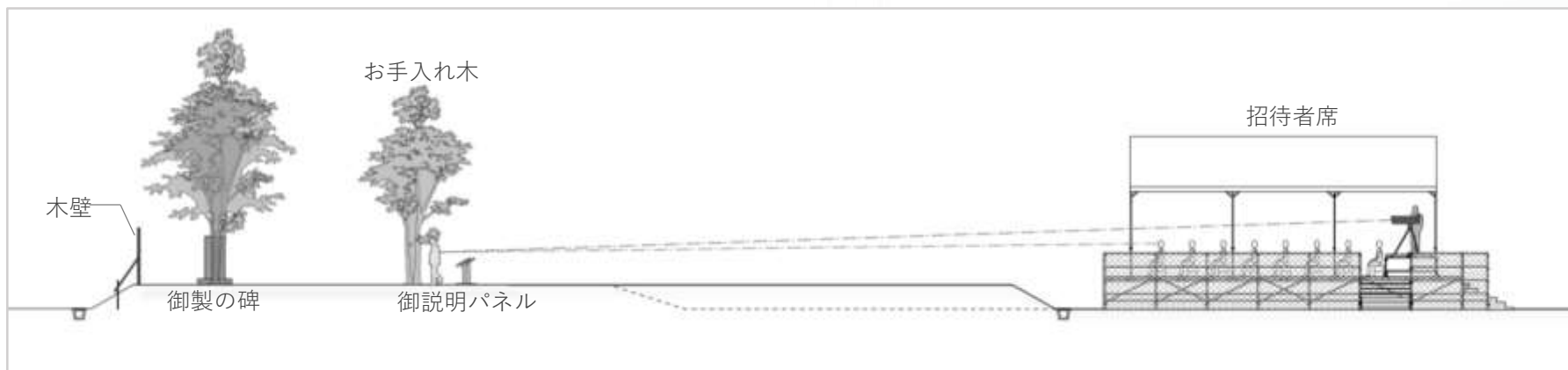
4 その他

会場内の安全とセキュリティを確保するため、金属探知機を設置します。
給排水設備、電気設備を仮設にて設置します。

【お手入れ行事会場 俯瞰図】



【お手入れ行事会場 断面図】



お手入れ行事開始前に、参加者による育樹活動（施肥）を通じて、育樹の大切さを県民はもとより広く全国に発信します。

■育樹内容

参加者が会場の樹木に肥料を施します。

■育樹行事区分

- ・ 特別待遇者
育樹活動地 A で施肥を実施します。
- ・ 上記以外
育樹活動地 B で施肥を実施します。

■育樹方法

- (1) 特別待遇者
緑の少年団の介添えのもと、1人1箇所のに肥料を入れます。
- (2) 上記以外
1人1箇所のに肥料を入れます。

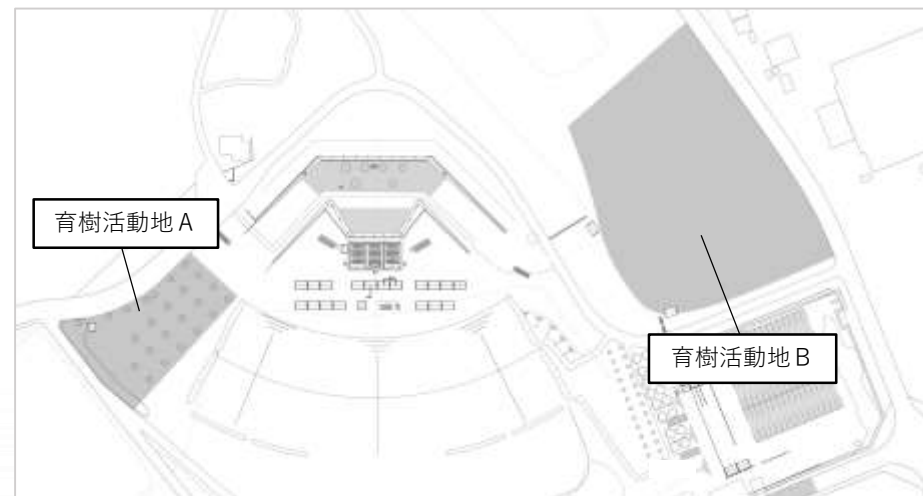
■会場準備

- (1) 特別待遇者
特別待遇者ごとに育樹木を決定します。
- (2) 上記以外
参加者区分ごとに区画を設けます。
- (3) 育樹道具
肥料、手鋤（お手入れ行事参加者）

■アトラクション演出

開催地である潮来市の魅力を知っていただけるよう、お手入れ行事開始前に郷土芸能でおもてなしを演出します。

【育樹行事区分図】





3.rd

式典行事計画

第46回全国育樹祭の開催方針に基づき、大会テーマ「誰かじゃない 僕が育てる 緑の日本」を象徴的に表現し、茨城県らしい未来への希望と期待にあふれた森林づくりの祭典となるような式典演出とします。

会場・整備

会場および既存機器等を有効に活用し、必要最小限の整備等で効果的な演出が得られるように工夫、周囲の景観・環境に十分配慮し、安全で快適な会場づくりに努めます。

Point

1

式典参加者

本開催を契機に、国土緑化運動の継続的な推進と、茨城県民参加の森林づくりの一層の推進を図るため、林業関係者をはじめ、次代を担う青少年、森林づくり活動に取り組む企業、団体、ボランティア、一般公募の参加者等、幅広く募集します。

Point

2

進行・演出

プロローグ、式典、エピローグの3部構成とし、県内外からの多数の参加者への歓迎の意と森林を含めた茨城県の魅力を知っていただけるアトラクション等を展開します。

Point

3

Point

4

県産木材の積極活用

式典会場の設営および装飾等は、可能な限り茨城県産木材及び関連製品を使用します。

- 開催日 令和5年（2023年）11月12日（日）午前
- 会場 アダストリアみとアリーナ（茨城県水戸市緑町2丁目3-10）
- 参加者 2,000人



メインアリーナ

プロスポーツを間近で見られることもできるスポーツコンベンションの拠点として、また、大規模イベントや展示会も開催できる会場として、充実した機能を備えた県内最大級の多目的施設です。

メインアリーナの収容人数は5,000人。2階席は固定席、1階席は移動観覧席で構成されています。



つり下げ式映像スクリーン

■ 概 要

(1)基本構成

プロローグ、式典、エピローグの3部構成とします。

(2)各構成

「FOREST WORK LABO STUDIO」と題した
ニューススタジオ仕立ての構成で演出します。

○プロローグ

式典開催前に、県内外からの多数の参加者への歓迎の意を込めつつ、森林を含めた茨城県の魅力を知っていただけるアトラクションを実施します。

○式典《皇族殿下御臨席》

音楽により演出効果を高めるとともに、皇族殿下の御臨席に相応しい厳かな式典とします。

○エピローグ

式典のフィナーレを飾るにふさわしいアトラクションを実施します。

■ 参加者

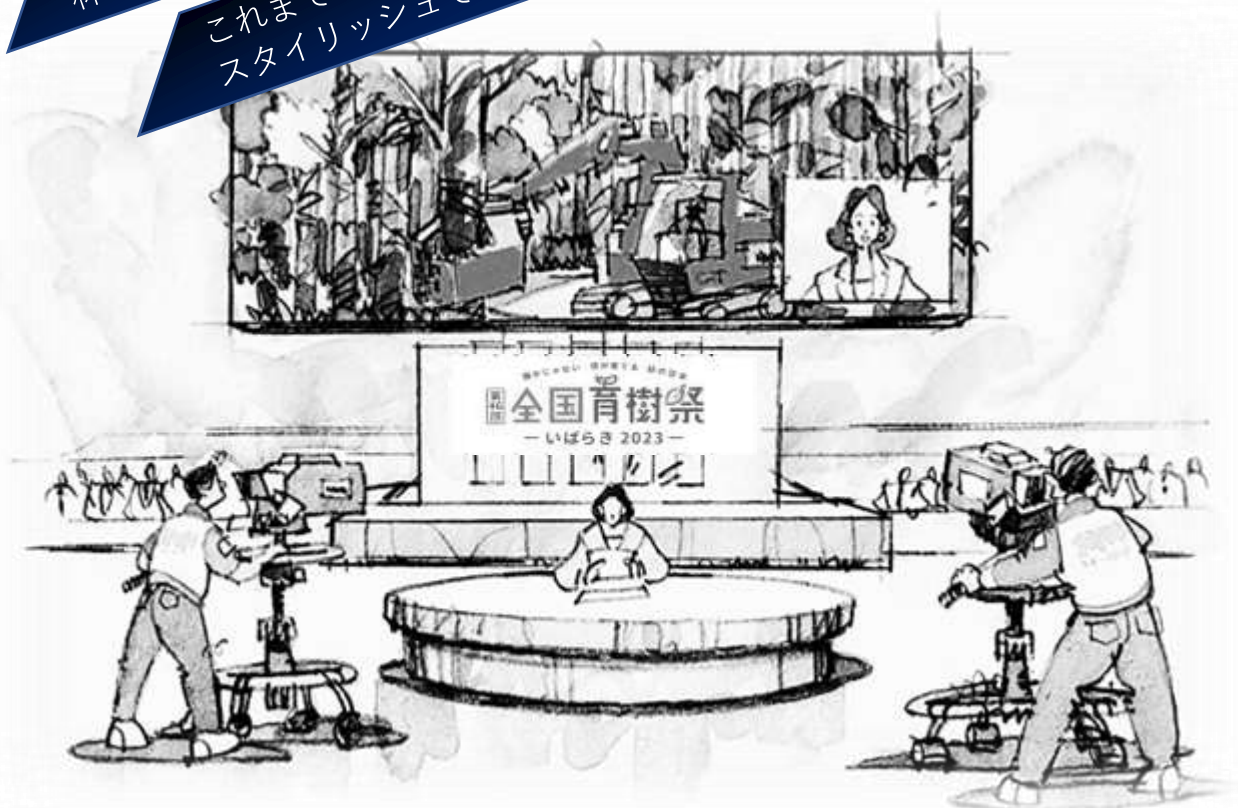
区分	人数	内容
県外参加者	約1,000人	中央推薦、各都道府県知事推薦等
県内参加者	約1,000人	実行委員会会長選考、市町村長推薦、公募による一般参加者等
その他		出演者、運営スタッフ等

次 第	行事概要
■開場（随時参加者入場開始）	
■プロローグ	
■BREAKING NEWS	・特別ゲスト(第56回全国植樹祭出演者) ・司会者 ほか
・茨城の魅力紹介、第56回全国植樹祭の振り返り+お手入れ行事の紹介	
■式典	
式典開始案内	
■皇族殿下 御着～御移動～御着席	
■開会のことば	
■三旗入場	・緑の少年団
■三旗掲揚・国歌斉唱	・緑の少年団ほか
■主催者あいさつ	・大会会長（参議院議長）／茨城県知事
■歓迎のことば	・茨城県議会議長
■皇族殿下のおことば	・皇族殿下
■緑化等功労者の表彰	・大会会長ほか
■緑の贈呈	・農林水産大臣ほか
■緑の少年団活動発表	・緑の少年団
※皇族殿下御移動	・皇族殿下が御席より特別観覧席に御移動
◇メインテーマアトラクション	
■LIVE NEWS	・キャスター（県ゆかりの俳優） ・特派レポーター（県ゆかりの俳優） ・映像出演（県内林業者・研究者等）
・ラボスタジオから配信されるNEWS SHOWを展開。	
■大会宣言	
■次期開催県あいさつ	・福井県知事
■閉会のことば	・水戸市長
■皇族殿下 御退席～御移動～御発	
※式典終了／エピローグ準備	
■エピローグ	
■CLOSING NEWS	・県内で活躍する女性たち、県ゆかりのアーティスト
“森林と人との共生”のしらべ	
※閉場アナウンス	

FUTURE FOREST WORK LABO

未来につながる茨城県の新しい
林業の姿を全国に発信

これまでの全国育樹祭にはなかった
スタイリッシュでコンパクトな演出



プロローグ

BREAKING NEWS

“森林と人との共生”の継承

茨城県の“植樹～育林”のDNA

式典（メインテーマアトラクション）

LIVE NEWS

未来につながる輝く林業

“林業の最前線”からの報告

エピローグ

CLOSING NEWS

“森林と人との共生”のしらべ

未来とつながる輝く林業の旅立ち

プロローグ

BREAKING NEWS

“森林と人との共生”の継承

茨城県の“植樹～育林”のDNA

茨城県の
“未来につながる輝く林業”を
育んだ風光明媚な景観と、
第56回全国植樹祭で
発信された
「森林と人との共生」
を継承するプロローグ
アトラクションを
大型映像を中心に展開。

オープニング▶クローズアップ茨城



「森と人の共生」継承
▶お手入れ行事レポート



式典
(メインテーマアトラクション)

LIVE NEWS

未来につながる輝く林業

“林業の最前線”からの報告

ラボスタジオから
配信されるNEWS SHOW
としてメインテーマ
アトラクションを構成。
NEWSクリップ、
特派員レポート、
インタビュー、ライブを
交え多角的に茨城の林業と
森林に迫る。

県ゆかりの俳優がキャスターとして
解説・リポート・インタビューで
茨城の林業と森林を掘り下げる



エピローグ

CLOSING NEWS

“森林と人との共生”のしらべ

未来とつながる輝く
林業の旅立ち

茨城県で活躍する
女性たちと、県ゆかりの
アーティストによる
森をテーマにした
音楽セッションを展開。
大会を締めくくる“心に残る”
エピローグアトラクション。

森をテーマとした
ミニコンサート
～福井県につなぐ



式典会場の整備・設営にあたっては、必要最小限の整備等で効果的な演出が得られるように工夫し、周囲の景観・環境に十分配慮し、安全で快適な会場づくりに努めます。

【式典行事会場 全体配置図】



1 設備計画

会場内の客席を活用し、効果的な配席を実施します。御席、参加者席、装飾などを仮設します。茨城県の森林づくり活動や観光情報などを紹介する「おもてなし広場」を設置します。

2 安全性・機能性・効率性重視

会場計画は、安全性を最も重視し、かつ機能的・効率的な計画とします。会場の特性と留意点を考慮し、警察機関と連携して、無許可者の進入を防ぎます。

3 演出計画

つり下げ式映像スクリーンなど、会場備え付けの設備を有効活用し、最先端の林業機械やその開発に取り組む技術者、木材が活用されている現場のレポートなどで茨城から「新しい林業」を」発信します。

4 装飾・サイン計画

装飾では茨城県産の花と木材を使用し、式典会場等を彩るとともに、参加者を入場から着席まで円滑に誘導する案内サインを各所に設置します。

式典の会場は、アダストリアみとアリーナのメインアリーナを使用し、屋内施設のメリットを活かした音響・照明等により演出効果を高める会場づくりを行います。また、既存の施設や設備を最大限利用することで、コストの低減を図りつつ、ステージやバックパネル等は茨城県産木材を積極的に活用します。

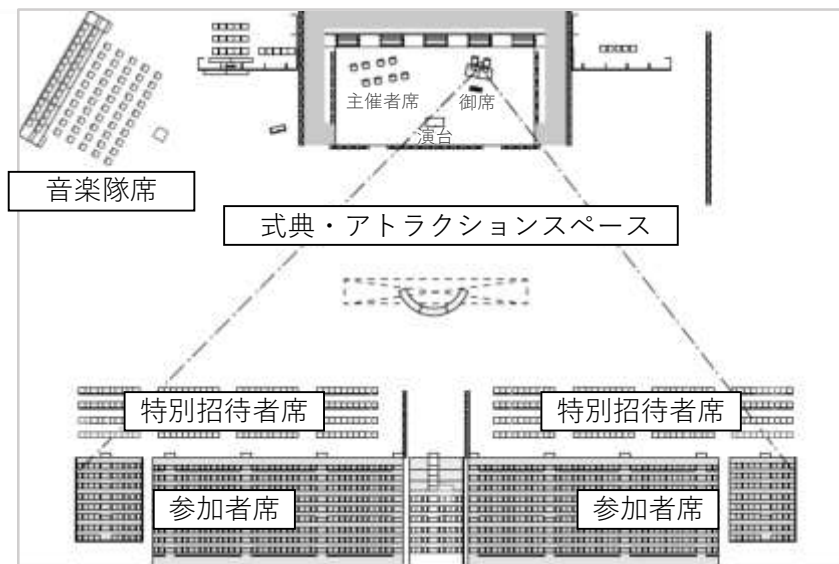
【 式典行事会場 俯瞰図 】



【 式典ステージ 立面図 】



【 式典行事会場 配置図 】

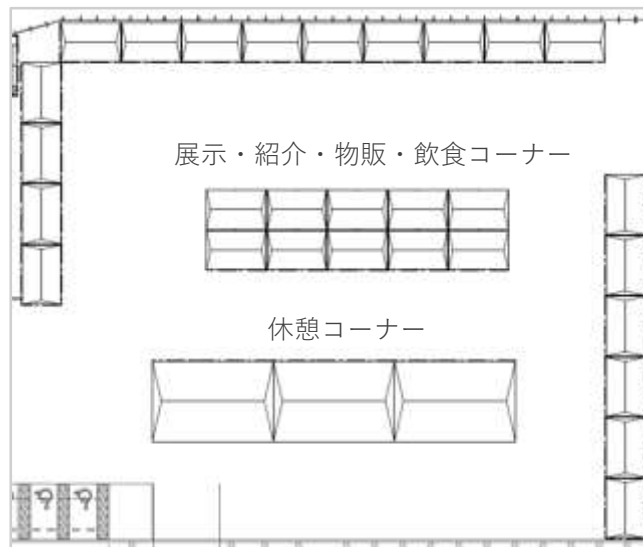
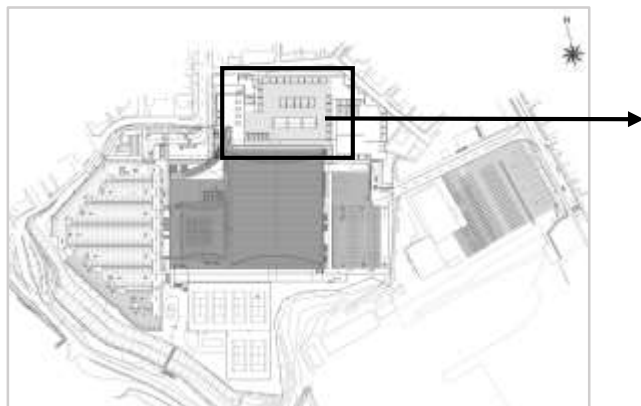


式典行事会場に「おもてなし広場」を設置し、茨城県の森林づくり活動や木材利用の取り組み、観光情報等の展示・紹介コーナーを設置します。また、県の特産品や飲食物の展示・販売等を行います。

【会場配置】

(屋外おもてなし広場拡大図)

屋外：展示・紹介・物販・飲食・休憩コーナー



1F：総合案内所／展示・紹介コーナー



2F：展示・紹介コーナー



区分	実施内容
展示・紹介コーナー	茨城県の森林づくり活動や木材利用の取り組みについての展示・紹介、茨城の観光PR等
物販コーナー	茨城県の特産品や加工品、県産木材を使った工芸品等の紹介・販売
飲食コーナー	茨城産食材を使用した飲食物や郷土料理等を販売し、県の魅力をPR
総合案内所	式典行事参加者に対するきめ細やかな案内を実施
休憩コーナー	式典行事参加者が自由にくつろげるよう、湯茶やテーブル・ベンチ等を設置



4.th

懇談会計画

花貫溪谷 汐見滝吊り橋 (高萩市)

皇族殿下の御臨席を仰ぎ、大会関係者を招待して、全国育樹祭での各種表彰者に祝意を表す場として懇談会（歓迎レセプション）を開催します。

- 主 催：茨城県
- 開 催 日：令和5年（2023年）11月11日（土）
- 開催場所：ホテル テラス ザ ガーデン 水戸（水戸市宮町1丁目7-20）
- 参 加 者：約200人

内 容／皇族殿下のご臨席を仰ぎ、全国育樹祭での各種表彰者に祝意を表す場として、懇談会を開催します。

主な参加者／皇族殿下

大会会長(参議院議長)、農林水産大臣、林野庁長官
 (公社)国土緑化推進機構理事長
 茨城県知事、茨城県議会議長、茨城県関係者、
 茨城県内市町村関係者
 緑化等功労者、林業・木材関係団体代表者等



第43回全国育樹祭（沖縄県）

次 第	行事概要
皇族殿下御着	先 導：茨城県知事 お出迎え：参議院議長、農林水産大臣、林野庁長官、 (公社)国土緑化推進機構理事長、 福井県知事、茨城県議会議長
開会のことば	茨城県議会議長
主催者あいさつ	大会会長(参議院議長)
乾杯	茨城県知事
歓談	皇族殿下による緑化等功労者へのお声掛け、歓談
皇族殿下御発	先 導：茨城県知事 お見送り：参議院議長、(公社)国土緑化推進機構理事長



5.th

併催行事計画

茨城県立歴史館 銀杏並木（水戸市）

茨城県内外の林業関係者、森林づくり活動に参画する企業、団体、大学、ボランティアや一般参加者など、各界・各層からの幅広い参加者のもとで、森林への関心を高め、森林づくり活動が拡大する契機となるよう、これからの森林づくりについて優良事例報告などを行います。

- 主 催：茨城県、公益社団法人国土緑化推進機構
- 開 催 日：令和5年（2023年）11月11日（土）
- 開催場所：太子町文化福社会館 「まいん」
（茨城県久慈郡太子町大字太子722-1）
- 参 加 者：約200人

次 第	行事内容
主催者あいさつ	茨城県、(公社)国土緑化推進機構
来賓祝辞	林野庁、(一社)全国林業改良普及協会
歓迎のことば	太子町
事例報告	県内外森林・林業関係者
閉会のことば	茨城県



第45回全国育樹祭（大分県）

全国から選出された緑の少年団と茨城県内の緑の少年団が一堂に集い、森林の大切さ、緑を守る活動を知るため、日頃の活動成果や地域の特色ある活動について発表を行います。また、大会終了後の交流集会ではレクリエーションを通して団員同士の交流を深めます。

- 主 催：茨城県、公益社団法人国土緑化推進機構
- 開 催 日：令和5年（2023年）11月11日（土）
- 内 容

①活動発表大会

- ・開催場所：茨城県鹿行生涯学習センター（行方市宇崎1389）
- ・参加者：約300人

次 第	行事内容
オープニングアトラクション	（調整中）
発表団入場・各団紹介	緑の少年団
主催者あいさつ	茨城県、(公社)国土緑化推進機構
励ましのことば	林野庁
活動発表	緑の少年団
特別講演	（調整中）
みどりの奨励賞 表彰式	緑の少年団
講評	(公社)国土緑化推進機構
緑の少年団育成成功労賞 表彰式	団体・個人
閉会のことば	(公社)国土緑化推進機構

②交流集会

- ・開催日：令和5年（2023年）11月11日（土）～12日（日）
- ・開催場所：茨城県立白浜少年自然の家（行方市白浜1466）
- ・参加人数：約150人

県内外の緑の少年団が交流を深めるためのレクリエーション等



第45回全国育樹祭（大分県）



6.th

記念行事計画

国営ひたち海浜公園 菜の花とネモヒラ（ひたちなか市）

ハーベスタ、フォワーダ等の高性能林業機械をはじめ、環境保全や安全に資する最新の機械、器具等の展示・実演を行い、その性能を紹介するとともに、森林・林業・環境機械の普及と安全使用の促進を図ります。

- 主 催 : 茨城県、一般社団法人林業機械化協会
- 開 催 日 : 令和5年(2023年)11月12日(日)、13日(月)
- 開催場所 : 笠松運動公園自由広場等(ひたちなか市佐和2197-28)
- 参加人数 : 出展者約60社・延べ1万人(予定) 見学自由(無料)
- 行事内容 : 林業・環境機械展示、実演会 大型機械組立工場見学会など

11月12日(1日目)

次 第	行事内容
主催者あいさつ	茨城県、(一社)林業機械化協会
来賓祝辞	林野庁
歓迎のことば	開催地
テープカット	茨城県、(一社)林業機械化協会、開催地等
展示・実演	森林・林業・環境機械メーカー等による展示・実演

11月13日(2日目)

次 第	行事内容
展示・実演	森林・林業・環境機械メーカー等による展示・実演



第45回全国育樹祭(大分県)

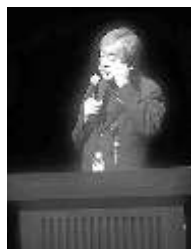


笠松運動公園
「山新スイミングアリーナ」

全国育樹祭の開催機運を高めるとともに、県民参加の森林づくりや木とのふれあいを進めていくために、広く県民が参加できる記念行事や関連行事を県内で引き続き開催します。

「国民参加の森林づくり」シンポジウム

- 主催：茨城県、公益財団法人森林文化協会、朝日新聞社、公益社団法人国土緑化推進機構
- 開催日：令和4年（2022年）12月1日（木）
- 開催場所：常陸太田市民交流センター（パーティホール）
- 参加者：405人
- 行事内容：基調講演、シンポジウム等



茨城県緑の少年団活動コンクール及び交流集会

- 主催：公益社団法人茨城県森林・林業協会、茨城県緑の少年団育成協議会
- 開催日：令和5年（2023年）2月4日（土）
- 開催場所：セキショウ・ウェルビーイング福祉会館（茨城県総合福祉会館）
- 参加者：130人
- 行事内容：県内緑の少年団による活動発表、交流集会（木工工作等）



関連行事

「グリーンフェスティバル」や「地域での育樹育樹活動」など、林業関係団体や市町村が実施するイベントのほか、県が実施する森林・林業体験学習などと連携し、県内全域で開催機運醸成のための取組を進めます。



グリーンフェスティバル2022
（令和4年11月23日開催）



緑の少年団による間伐体験
（令和4年10月26日開催）



7.th

運営計画

皇族殿下の御臨席を仰ぎ、大臣等要人及び県内外からの参加者等、約2,000人が集う大会であるため、以下の点に十分配慮した運営を行います。

運営体制

皇族殿下の御臨席を仰ぎ、県内外から約2,000人が集う行事であることから、新しい林業の姿と茨城らしさを全国に向けて発信する絶好の機会と捉え、おもてなしの心をもって来県者を迎える体制を整えます。

Point
1

ICTの活用

参加者への招待状の発送や受付等の各業務をシステム化して連携することにより事務の省力化を図り、併せて、参加者の利便性向上と非接触型の来場者管理を実現します。

Point
3

衛生・安全対策

各会場における傷病者の救護に関する体制を整備するとともに、飲食等による事故の発生防止を図るための食品衛生対策、ごみ処理や尿処理等の環境衛生対策を徹底します。
さらに、感染防止対策等にも十分な配慮を行います。

Point
2

Point
4

輸送・宿泊

計画にあたっては、式典等会場・宿泊地の立地を考慮し、東京駅、茨城空港など交通要所からのアクセス提供による参加者の利便性向上を図るとともに、輸送人員の規模に応じた交通・移動手段を選定するなど、経費削減に努めます。

大会の円滑かつ効率的な運営を行うため、「第46回全国育樹祭茨城県実施本部」を茨城県庁に設置します。

皇族殿下御臨席行事については、台風の接近や災害の発生等により計画通りの行事開催に懸念が生じた場合は、関係機関による判定会議を開催します。

■実施本部組織図



■実施本部業務分掌

部名	班名	部掌事務
総務・運営本部	総合調整班	実施本部の総括に関すること。
		行事全体の進行管理に関すること。
		他部及び部内の他班に属さない事項に関すること。
	接遇班	特別接遇者の接伴に関すること。
	広報・報道班	報道関係者の案内及び調整に関すること。
	懇談会班	懇談会の運営に関すること。
お手入れ行事部	お手入れ行事班	お手入れ行事の進行管理に関すること。
	記念育樹班	特別接遇者の育樹活動に関すること。 県内外参加者の育樹活動の準備、補助及び誘導に関すること。
式典行事部	式典運営班	式典行事の調整に関すること。
		式典行事の進行管理に関すること。
		表彰及び登壇者に関すること。
		式典音楽隊、アトラクション出演者等の行動管理に関すること。
		記録用写真・映像の撮影に関すること。
	展示・広場調整班	式典会場内の展示及びおもてなし広場の運営に関すること。
	会場受付班	式典会場の受付に関すること。
		県外参加者の荷物預かりに関すること。
		弁当の配布に関すること。 記念品の配布に関すること。
	会場誘導班	式典会場の案内誘導に関すること。
式典会場の安全対策及び会場内の整理に関すること。		
清掃及び美化に関すること。		
宿泊輸送部	宿泊管理班	宿泊施設における県外参加者の案内誘導に関すること。
	輸送班	輸送バス等の運行管理に関すること。
		輸送バス等の案内誘導に関すること。
	駐車場班	式典会場駐車場における車両整理に関すること。 指定集合地における車両整理及び参加者誘導に関すること。
おもてなし班	参加者への水戸駅等での案内所運営に関すること。	
併催・記念行事部	育林交流集会班	育林交流集会の運営に関すること。
	全国緑の少年団活動発表大会班	全国緑の少年団活動発表大会及び交流会の運営に関すること。
	森林・林業・環境機械展示実演会班	森林・林業・環境機械展示実演会の運営に関すること。

■1日目 お手入れ行事会場：茨城県水郷県民の森
／全国緑の少年団活動発表大会会場／懇談会会場

時間	区分	皇族殿下	特別待遇者	県外参加者	県内参加者	実施本部員等	
	車両	御料車	ハイヤー	バス等	バス等	バス等	
8	午前					会場着	
9						リハーサル	
10							
11							
11				会場着	会場着		
12	午後		会場着	育樹活動			
12			育樹活動				
13		御着					
13		お手入れ行事					
14		御発	会場発	会場発	会場発	バス輸送 誘導等	
15						会場発	
16							
17		懇談会（歓迎レセプション）会場					
18			会場着	会場着	会場着		
18		御着					
18	懇談会（歓迎レセプション）						
19	御発	会場発	会場発	会場発			

■2日目 式典行事会場：アダストリアみとアリーナ

時間	区分	皇族殿下	特別待遇者	県外参加者	県内参加者	実施本部員等	
	車両	御料車	ハイヤー	バス等	バス等	バス等	
6	午前					会場着	
7						荷物預り・受付 (金属探知機) 会場誘導等	
8				会場着	会場着		
9			会場着				
9		御着	プロローグ				
10		式典					
11		式典					
12		御発	会場発	エピローグ			
13				昼食（会場内）			
13			会場発	会場発	会場発	弁当配布・ バス輸送 誘導等	
14			会場発	会場発			
15					会場発		
16							

参加申込から受付管理までを行えるWebシステムを構築し、参加者が申込内容や来場する際に必要となる情報をいつでも確認できるようにします。

受付は各会場にて行うこととし、参加者数に対して十分な受付ブースを用意するとともに、業務をシステム化することにより、本人確認や必要なセキュリティチェックを確実にいき、スムーズに受付できる体制を構築します。

■お手入れ行事、式典行事（セキュリティチェックあり）

（1）参加申込から受付までのシステム化

参加申込をWebシステムで行うことで簡便化し、参加者毎にマイページを表示、スマートフォン等から申込内容の確認や変更、さらに来場する際に必要となる情報の取得を時間や場所を選ばず可能とするとともに、受付用の2次元等コードをマイページ内に表示することにより、会場にて各自のスマートフォン等を用いた簡便な受付が可能となるようシステム化し、参加者の利便性向上と業務の省力化を図ります。

（2）受付場所

各会場で受け付けを行うこととし、本人確認や必要なセキュリティチェックを確実にいきながらもスムーズな受付業務が可能となるよう受付ブースを十分に用意します。

（3）荷物預かり所の設置

式典会場の受付ブース前に、宿泊する参加者等の荷物預かり所を設置し、迅速かつ確実に荷物の受け渡しができるようにします。

（4）その他、受け付けのため事前に行う確認事項

①前日宿泊する参加者

式典行事前日に宿泊施設へのチェックイン状況を確認します。

②前日宿泊しない参加者

県内各地に設置する指定集合地等にて指定輸送車両への乗車状況を確認します。

■その他の行事

会場等に実施本部員を配置し、受付・案内を行います。



第46回全国育樹祭のお手入れ行事当日(併催行事開催日)と、式典行事当日、記念行事開催日の3日間を期間とし、車両借り上げによる輸送を実施します。実施にあたっては、式典等会場・宿泊地の立地を考慮し、東京駅、茨城空港など交通要所からのアクセス提供による参加者の利便性向上と輸送規模によってバスや小型車両を活用するなど、利便性を確保しながら最適な輸送方法を選定し経費削減に努めます。

■輸送予定人数

	人数	輸送方法
参加者 総数	県外参加者 約1,000人	ハイヤー・バス等
	県内参加者 約1,000人	バス等
	出演者・協力員等	バス等

■輸送管理体制

- (1) 会場までの輸送ルート、所要時間、トイレ休憩等の綿密な輸送管理計画を策定します。
- (2) 式典会場に「輸送管理本部」を設置し、情報の一元化を図り、車両の通過時間を確認等、適切な運行管理を行います。

■参加者の輸送出発点

- (1) 宿泊する参加者は宿泊施設又は指定集合場所を出発点とします。
- (2) その他の参加者は、原則として指定集合場所とします。

■参加者の輸送方法

- (1) 宿泊する参加者は、宿泊位置等を考慮し、路線バス車両を利用したバスや小型車両など、最適な輸送方法を選定します。
- (2) 会場付近または隣接県より自家用車で来場する参加者については、お手入れ行事及び式典行事会場の周辺に指定駐車場を設け、バスにより会場まで輸送します。
- (3) その他の参加者は、原則として指定集合場所より往復バス等にて輸送します。
- (4) 県外からの参加者が借り上げバスで来県した場合、そのバスでの会場乗り入れを可能とし、会場まで誘導します。(持込バス)
- (5) 式典会場からの復路は交通要所(東京駅及び茨城空港)への直通バスを設定します(事前申込制(有料))。

■駐車場・乗降場の誘導

- (1) バス等の車両誘導は、必要な個所に交通誘導を配置し、安全かつ円滑な誘導管理を図ります。
- (2) 式典会場に「輸送管理本部」を設置し、情報の一元化を図り、車両の通過時間を確認する等、適切な運行管理を行います。
- (3) 円滑なバス等の誘導のため、誘導標識を設置します。

■緊急時の対策

- (1) 事前に非常時連絡体制を整え、バスに同乗する実施本部員等に周知徹底します。
- (2) 当日の急なトラブルに備え、予備のバスを確保します。

主に県外参加者を対象として、式典行事前日を基本に配宿を実施します。宿泊施設は、式典会場へのアクセスと個室利用への要望が多いことを考慮し、水戸市内を中心に選定します。

■宿泊施設の選定基準

- (1) 交通の利便性が高い宿泊施設
- (2) 安心・安全・快適なおもてなしができる宿泊施設
- (3) 早朝のチェックアウトに応じた朝食を提供できる宿泊施設を基本とする。
- (4) SDGs・エコ宿泊に取り組んでいる施設

■宿泊予定人数

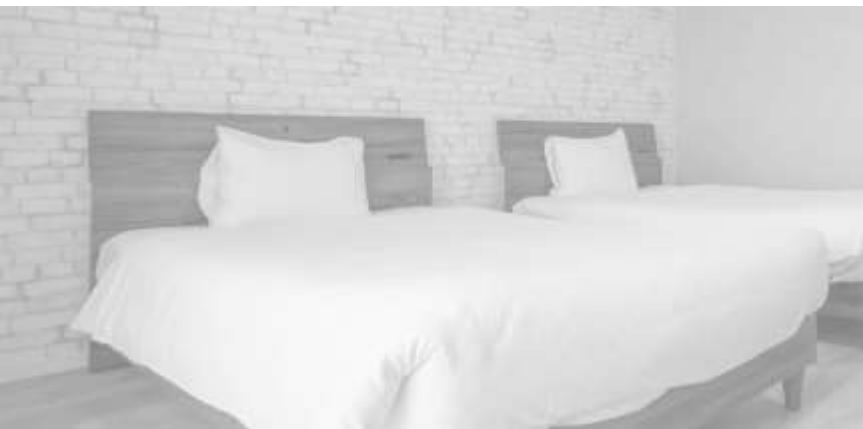
参加者区分	人数
県外参加者	約1,000人
県内参加者	約100人
合計	約1,100人

■宿泊計画

- (1) 宿泊対象者
宿泊対象者は、県外参加者とします。
- (2) 指定宿泊期間
原則として、式典行事開催日の前日とします。
- (3) 宿泊地・施設
宿泊施設は、水戸市内を中心に個室利用を原則として、宿泊予定人数に対し十分な部屋数を確保します。
- (4) 宿泊施設での受付・案内
宿泊者リストを共有し、チェックイン案内を円滑に行います。
- (5) 緊急時の対応
 - ア 緊急時対応マニュアルを作成し、実施本部員・専任スタッフ及び宿泊施設に緊急時対応の周知徹底を図ります。
 - イ 各宿泊施設からの情報を総括する「宿泊輸送センター」を設置し、情報の一元化を図ります。

■案内計画

JR水戸駅など交通要所に案内所を設置し、会場や宿泊先への円滑な誘導のほか、近隣の飲食・観光情報などの提供を行い、参加者へのおもてなしに努めます。



主に県外からの参加者に、茨城県の森林・林業を知っていただくとともに、自然、伝統文化、特産品等茨城の魅力を楽しんでいただけるような日帰りから1泊2日の視察コースを設定し、エクスカーションツアーとして提供します。

■視察コースの選定基準

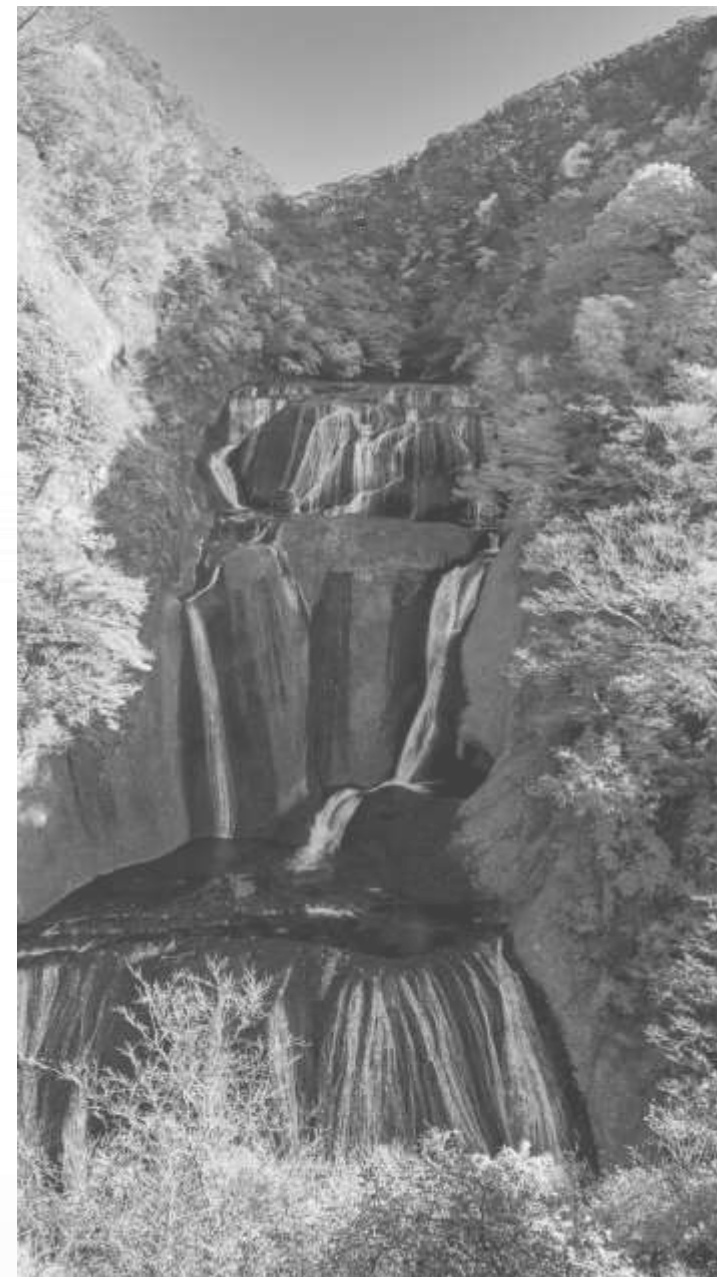
- (1) 茨城県の魅力を最大限にPRでき、イメージアップとなり得るふさわしい視察コースであること。
- (2) 茨城らしさを体感できるコースであること。
- (3) 参加者の安全や、万全な旅程管理を期するためにすべてのコースに添乗員を同行させ、無理のない効果的な時間配分がなされた行程であること。

■視察コースの概要

- (1) 日帰り及び宿泊付のコースを設定します。
- (2) いずれのコースも茨城の豊かな自然、食文化や郷土文化、将来性を感じることが出来るものとします。
- (3) 各コースには必要に応じ、茨城の魅力を案内できるガイドをつけます。

■事業実施及び参加者募集計画

- (1) 視察業務について、指定する専門的な民間旅行会社に委託します。
- (2) 旅行会社が主催し、募集型企画旅行として実施します。なお、各コースには最小催行人員を設定します。



袋田の滝（大子町）

茨城県警察本部及び関係機関等との緊密な連携により、警備・警護にあたります。また、会場地消防本部と連携し、万一の火災、自然災害等の緊急事態に備えます。

- ・火災・事件事故、その他の災害発生に際しては、来場者の安全確保を最優先とした運営を行います。
- ・有事の際、迅速な協議・対応を行うため、緊急連絡体制を整備します。

■警備・消防防災計画

(1) 警備計画

- ・式典当日までの期間、警備スケジュールを定めて警備を行うとともに、会場の各施設の管理点検を行います。
- ・式典当日は、会場周辺に専門警備員及び実施本部員を配置し、車両の交通整理、参加者の誘導にあたり、雑踏事故、交通事故その他の事件事故防止に努めます。
- ・式典当日は、会場内における禁止事項を定め、県警本部との関係のもと、治安の維持に努めます。

(2) 消防防災計画

- ・会場の主要施設及び火気取扱箇所には、消火器を設置し、防火指導を徹底します。
- ・式典当日は、会場内に喫煙所を設け、分煙と火災予防に努めます。
- ・宿泊施設については、地元消防署等関係機関の協力を得て、安全対策に万全を期します。
- ・式典当日は、会場内に消防機械器具を配置し、万一の火災または災害発生時に速やかに対応できる体制をとります。

■災害発生時の対応

火災等災害発生時において参加者の安全を確保し、事態を最小限にとどめるため、対応フローを計画します。また、災害時には、警察・消防署との緊密な連携のもと実施本部救護・衛生・防災班が対応します。



茨城県庁（水戸市）

各会場における傷病者の救護に関する体制を整備するとともに、飲食等による事故の発生防止を図るための食品衛生やごみ処理、尿処理等の環境衛生対策他、感染症対策を徹底します。

■医療・救護対策

- ・各会場に救護所(室)を設置し、傷病者の医療・救護にあたります。
- ・救護所(室)には、関係機関の協力を得て、看護師及び傷病者の手当に必要な医薬品・医療器具（AED含む）を配置します。
- ・傷病者移送先の病院については、あらかじめ地元医療機関に対し協力依頼を行います。

■傷病者発生時の対応

- ・傷病者発生時における迅速かつ適切な加療に努めるため、医療・救護対応フローを計画します。

■宿泊場所および輸送中における医療・救護体制

- ・宿泊場所における体制
宿泊施設で傷病者が発生した場合は、宿泊施設スタッフが最寄りの消防署・医療機関との連携を図り、対応します。
- ・輸送中における体制
参加者・大会関係者の輸送時に傷病者が発生した場合は、実施本部員または専用スタッフが、最寄りの医療機関、消防署と連携を図り対応します。

■環境衛生対策

- ・保健所等の協力を得て、食品衛生や環境衛生について、関係機関と協議を行い、衛生対策体制を整備します。
- ・食の安全を期すため弁当業者や宿泊施設、会場内の食品提供団体等への指導を行い、食品衛生管理を徹底します。
- ・飲食等により発生する廃棄物は適切に処理を行い、会場及び周辺的环境美化に努めます。
- ・会場内にゴミ集積所を設置し、分別回収を行うとともに、係員による適宜巡回清掃を行い、快適な環境づくりに努めます。
- ・会場内各所に設置する仮設トイレについても、巡回清掃及び確認を行い、清潔で使いやすい環境づくりを心がけます。
- ・式典行事参加者の感染防止対策として、手洗い・うがいの徹底と消毒液を配置します。

■緊急対応計画

各行事ごとに、非常事態等に緊急対応するための体制を整備します。

■雨天時・荒天時対応計画

行事中止の判断基準となるガイドラインの設定のほか、荒天時等の開催可否を判断するための「判定会議（仮称）」を設置します。

●判定会議の開催

- ①荒天時等（暴風・強風等）で行事を計画どおりに実施することに懸念が生じた場合は判定会議を実施し、お手入れ行事及び式典行事等の開催を判断します。
- ②開催の判断は、警報・注意報の発令や交通機関の運行状況等を参考に行います。

●決定内容の通知について

- ①荒天により中止とすることが決定された場合には、関係者に直ちに通知します。
- ②また、第46回全国育樹祭公式ホームページ等により、情報提供を行います。

●雨天時のお手入れ行事の開催

雨天時のお手入れ行事については、傘の差し掛けで対応します。

【判断基準】

行事名	天候	対応	説明
お手入れ 行事	晴天	開催	計画に基づき開催します
	雨天		晴天時と同様に行事を開催します
	荒天	中止	屋外会場のため行事を中止します
式典行事	晴天	開催	計画に基づき開催します
	雨天		屋内会場のため開催します。但し、台風が接近した場合等参加者の安全輸送に支障を来す恐れがある場合には、プログラムの変更や規模縮小、開催中止を状況に応じて判断します
	荒天		

※大規模な地震等の緊急事態が発生した場合は、大会を中止とします。



8.th

広報・協賛計画

■広報計画

(1) 広報

茨城県の魅力・観光案内とともに第46回全国育樹祭を広く県内外に知らせるとともに、開催への機運を高めるため、効果的な広報を積極的に行います。

- ①公募により決定した「大会テーマ」「ポスター原画」を効果的に活用します。
- ②報道関係、業界紙、広報誌に加え、ホームページやサイネージなどのデジタルメディアを効果的に活用した情報発信を積極的に行います。
- ③各種広報物品（リーフレット、ポスター、パネル、のぼりなど）を制作し、関係機関などに配布します。

(2) 記録

第46回全国育樹祭の開催記録を保存します。

■協賛計画

全国育樹祭の開催趣旨に賛同する企業や団体、個人を対象に、金銭や物品、広報PRへの協力等による協賛を募集します。

(1) 協賛の種類

- ①物品協賛 : 育樹祭の準備及び運営等に要する物品の提供。
- ②役務協賛 : 育樹祭の準備及び運営等に要する役務の提供。
- ③広報・PR協賛 : 育樹祭行事の広報及びPR活動への協力。
- ④金銭協賛 : 育樹祭の準備及び運営等に要する金銭の提供。

(2) 協賛の特典

- ①式典行事プログラム・協賛者ボード等への協賛者名称記載
- ②大会ホームページへの掲載・協賛者ホームページへのリンク
- ③大会公式ロゴマーク等の使用
- ④感謝状の授与



9.th

開催準備計画

茨城県県民の森（那珂市）

第46回全国育樹祭の式典運営をはじめ、開催に向けての準備を整えるため、各種練習会・研修会及びリハーサルを事前に実施し、総合調整を図ります。

■お手入れ行事リハーサル

- (1) お手入れ行事総合リハーサル
実施日：令和5年11月上旬
場 所：茨城県水郷県民の森
内 容：お手入れ行事全般に関わるリハーサル

- (2) お手入れ行事当日リハーサル
実施日：令和5年11月11日（土）
場 所：茨城県水郷県民の森
内 容：お手入れ行事全般に関わるリハーサル

■式典行事リハーサル

- (1) 式典音楽隊合同練習会
実施日：令和5年夏～秋（未定）
場 所：近隣公共施設等
内 容：式典音楽演奏の合同練習会及び音源の録音
（式典補助員他研修用音源）

- (2) 式典補助員研修会
実施日：令和5年夏～秋（未定）
場 所：近隣会議室等
内 容：接遇の基本所作研修及び式典の登降壇者誘導等の
レクチャー

- (3) 式典行事リハーサル
実施日：令和5年10月中旬
場 所：アダストリアみとアリーナ
内 容：式典行事に関わるリハーサル
（プロローグ、メインテーマアトラクション、
エピローグを除く）

- (4) 式典行事総合リハーサル
実施日：令和5年10月下旬
場 所：アダストリアみとアリーナ
内 容：式典行事全般に関わるリハーサル

- (5) 式典行事前日リハーサル
実施日：令和5年11月11日（土）
場 所：アダストリアみとアリーナ
内 容：式典行事全般に関わるリハーサル

令和5年（2023年）秋季の開催に向け、関連行事の開催や会場の整備、リハーサルの実施など、計画的に準備を進めていきます。

年度	月	大会開催計画	リハーサル等	会場関係	
令和4年度	12月	12月1日 「国民参加の森林づくり」シンポジウム		お手入れ行事会場の整備等	
	1月				
	2月	2月4日 「茨城県緑の少年団交流大会」 2月7日 開催日の決定・公表			
	3月	実施計画の決定・公表			
令和5年度	4月				仮設物の設置
	5月	一般参加者の募集			
	6月	大会実施本部設置	各種練習会 ・ 研修会		
	7月				
	8月				
	9月				
	10月		式典行事 リハーサル		
	11月	11月11日 第46回全国育樹祭（お手入れ行事） 11月12日 第46回全国育樹祭（式典行事） 11月11日～13日 併催・記念行事	お手入れ行事 及び式典行事 総合リハーサル		
			式典行事前日リハーサル		
	12月				
	1月				
2月					
3月	開催記録の保存				